



このコーナーでは、皆さんからの「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは、字数 200 文字以内。写真は、1 枚につき 50 文字以内。(文章は、必要に応じて添削する場合があります)
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載します)を記入の上、伊佐PR課までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月10日
※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
伊佐市大口里2845番地2
伊佐PR課
「和みのひろば」係
☎④4113
✉ koho@city.isa.lg.jp



新聞の折り込みチラシで懐かしい写真のアルバムが販売されることを知り、購入した知人と一緒に眺めていると、終戦から1年半後の湯之尾小学校新学期の写真を見つけた。これは、あのおばさんに違いないと、その人の娘に連絡し一緒にみてもらうと「そうだ、懐かしい」ということに。思い出話に花を咲かせしみじみしていると「ちよつと待つて：撮影時期が母の時代と合わない」：チャンチャン。人違いでした。
(菱刈 ヒサちゃん 50代)

— 秋は寂しい季節。彼との『別れ』の季節。この前まで私を見つけるとかけよつて笑いかけてきてくれた。一緒にご飯を食べて一緒にひなたぼっこ。あなたの笑顔を見ると私まで癒された。それなのに…。
あなたを待っています。また一緒にご飯を食べよう。一緒にひなたぼっこしよう—



ここ数日の寒さに耐えきれず、我が家は早くもストーブを出しました。特等席はいつも猫に奪われます。
(山野 ジョン 20代)

きなこもちさん、どんな言葉で励まそうかと思っていたら、珍しいカレ(カメ)をお持ちなんですね。

11月上旬から、ペットの陸ガメ(名前…もち)が冬眠に入りました。半年間は冷たい甲羅を眺めながら過ごします。早く起きてね、もち。(大口 きなこもち 30代)



人口のうごき
(住民基本台帳から)

H26.11.1 現在 (前月比)

総人口	28,273 人	(- 28)
男	13,088 人	(- 11)
女	15,185 人	(- 17)
世帯数	14,055 世帯	(- 10)



編集後記

「まちの話」に掲載できなかった話題のひとつに「小中学校音楽発表会」があります。体育館での別取材を済ませ車に向かう途中、知り合いの先生方に会うこと会うこと。口々に「取材お疲れ様」と言われ、正直予定になかった発表会取材することに。文化会館は児童生徒や保護者で満席。あらゆる所にカメラが設置され、私の出番はないかなと思うほどでした。
プログラム開始—懐かしい、自分にもこんな時代があった。大きな会場で緊張しながら合唱や演奏をしたこと。ステージ脇から撮影すると指揮者の先生が子どもたちを落ち着かせるように口角をあげて見えます。ライトを浴びて緊張もピーク、出演者の熱に私がフラつきそうな感覚。後輩の校歌斉唱を聴いて泣きそうになったり、保護者の涙にもらい泣きしそうなったり…。涙を我慢して会場をでた私がもう一度客席にもどりました。来場者全員の「伊佐市歌」大合唱が聴こえてきたから—歌詞をみることもなく、大きく素直な声で歌う子どもたちの「伊佐市歌」大合唱はわが子でなくても泣けてきます。今年一番癒された取材でした。